

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

---

# 東京都感染症週報

2010年第22週  
(5月31日～6月6日)

\* 2010年6月9日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成22(2010)年6月10日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

# 全数把握対象疾患 報告数 2010年22週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		19週	20週	21週	22週	年累計	22週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	84	103	89	59	1680	345	9765
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					1		4
	細菌性赤痢	1	4	1	1	32	4	75
	腸管出血性大腸菌感染症		1	4	2	52	92	594
	腸チフス					2		12
	パラチフス					2		10
四類	E型肝炎		1			6		28
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	5	2	2		32	4	227
	エキノкокクス症							2
	黄熱							
	オウム病							2
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病			1		4	9	72
	デング熱		1	1		13	1	50
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	1	14
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
マラリア					9		24	
野兔病								
ライム病					1		3	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽					1		2	
レジオネラ症	1	2	1		14	11	215	
レプトスピラ症					1	1	2	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		19週	20週	21週	22週	年累計	22週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	5	1	9	71	12	330
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	2	2	1		20		80
	急性脳炎 *2					8	1	102
	クリプトスポリジウム症					1		4
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		7	2	57
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1			7	2	52
	後天性免疫不全症候群	15	9	11	9	201	14	580
	ジアルジア症		1		1	8	2	34
	髄膜炎菌性髄膜炎							4
	先天性風しん症候群							
	梅毒	4	2	1	6	66	6	227
	破傷風					2	3	37
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			8	1	43
風しん			1	1	10	3	43	
麻しん	3	2	3	2	34	8	227	
新型※	新型インフルエンザ *3	-	-	-	-			
2010/6/9集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※ 新型インフルエンザ等感染症

\*3 2009年4月28日に指定された。現時点では届出不要。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核 59件** 肺結核37件、その他の結核22件で、推定感染地は国内57件、ロシア1件、中国1件、年齢は10歳未満4件(うち5歳未満3件)、10歳代6件、20歳代12件、30歳代9件、40歳代4件、50歳代3件、60歳代7件、70歳代7件、80歳代5件、90歳以上2件であった。

#### 〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 1件** 菌種はソンネ、推定感染地はインドネシア、感染経路はその他(不明)であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 2件** 患者1件、無症状病原体保有者1件。血清型・毒素型はO157(VT2)1件、O157(VT1VT2)1件で、年齢はどちらも20歳代である。推定感染経路は飲食物による経口感染1件、その他(不明)1件であった。

#### 〈四類感染症〉

四類感染症の届け出はなかった。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 9件** 腸管アメーバ症8件、腸管及び腸管外アメーバ症1件で、推定感染地は国内6件、国外3件(インド 1件、シンガポール 1件、渡航先不明 1件)、推定感染経路は飲食物(アサリ1件、不明4件)による経口感染5件、性的接触(同性間)2件、経口感染及び性的接触1件、その他(不明)1件であった。

**後天性免疫不全症候群 9件** 無症候キャリア4件、AIDS4件、その他1件。無症候キャリアおよびその他の年齢は20歳代2件、30歳代1件、40歳代2件、AIDS患者の年齢は30歳代3件、60歳代1件である。推定感染地は国内6件、ナイジェリア1件、不明2件、推定感染経路は全て性的接触(同性間7件、異性間2件)であった。

**ジアルジア症 1件** 推定感染地はインドで、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

**梅毒 6件** 早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期3件、無症候1件。推定感染地は全て国内で、推定感染経路は性的接触5件(同性間3件、異性間2件)、その他(不明)1件であった。

**風しん 1件** 検査診断例で、年齢は20歳代、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

**麻しん 2件** 麻しん(臨床診断例)1件、修飾麻しん(検査診断例)1件で、年齢は20歳代1件、40歳代1件、麻しん含有ワクチン接種歴は1回1件、不明1件であった。

## 定点把握対象疾患 報告数 2010年22週

定点種別	対象疾患	2010年					報告医療機関数	定点医療機関数
		19週	20週	21週	22週	(定点当たり)		
小児科	RSウイルス感染症	8	14	9	4	0.03	147	150
	咽頭結膜熱	41	39	48	54	0.37		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	247	295	312	335	2.28		
	感染性胃腸炎	1,055	1,125	1,035	1,092	7.43		
	水痘	302	222	326	264	1.80		
	手足口病	53	103	107	117	0.80		
	伝染性紅斑	55	97	54	114	0.78		
	突発性発しん	97	95	90	74	0.50		
	百日咳	7	18	20	30	0.20		
	ヘルパンギーナ	47	61	113	148	1.01		
	流行性耳下腺炎	163	133	120	142	0.97		
	不明発しん症 (注1)	14	16	11	18	0.12		
MCLS (川崎病) (注1)	3	1	1	2	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	15	25	18	24	0.08	285	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	6	1	2	0.05	39	39
	流行性角結膜炎	11	14	16	20	0.51		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	1	0	0	0	0.00	24	24
	無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	5	5	7	8	0.33		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		

2010/6/9集計

(注1) 不明発しん症、MCLS (川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・手足口病の定点当たり報告数は微増した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・百日咳の定点当たり報告数は増加した。江戸川区内小中学校における患者集積による影響である。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均と比較して高いレベルで推移している。

### (定点医療機関からのコメント)

世田谷保健所管内定点医療機関

- ・流行性耳下腺炎: 小学校で大流行しています。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2010年22週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	1	1		16	4		1	1		1
～11か月	1	4	1	82	12	8	5	39		6
1歳	1	18	7	113	45	29	4	29	1	49
2歳		6	11	96	36	16	9	4		28
3歳		9	32	118	59	20	7			17
4歳	1	8	43	106	33	14	17	1	1	24
5歳		1	45	97	35	14	17		3	13
6歳		2	47	81	18	8	13		1	4
7歳			40	68	10	2	15		1	3
8歳		2	20	45	5	3	11		3	
9歳			23	37	2	1	3		4	
10～14歳		2	33	97	4	1	9		5	
15～19歳		1	4	14					1	1
20～29歳			29	122	1	1	3		10	2
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	4	54	335	1092	264	117	114	74	30	148
先週比	-5	6	23	57	-62	10	60	-16	10	35

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月						
～11か月	1	4				
1歳	3	5		1		
2歳	13	3	1			
3歳	18	1	1			
4歳	23	1				
5歳	24	1		2		
6歳	23	1				
7歳	10	1		1		
8歳	11			1		1
9歳	6					
10～14歳	7			3		1
15～19歳				5		
20～29歳	3	1		4	1	5
30～39歳				5	1	7
40～49歳				2		2
50～59歳						2
60～69歳						1
70～79歳						1
80歳以上						
合計	142	18	2	24	2	20
先週比	22	7	1	6	1	4

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

## 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2010年22週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳	1	1
30～39歳		
40～49歳		1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	2

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2010年22週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田					2				1	
中央区			7	16	1	4				3
みなと	1	4	7	39	11	2	1	5	2	7
新宿区	1	2	4	38	5	11	1	2		8
文京			4	3	3					
台東			8	46	3			2	1	12
墨田区			5	20	2		3	1	1	2
江東区		1	7	53	7	5	2			2
品川区		1	7	52	6	1	2	2		10
目黒区			3	6		5				2
大田区		16	20	93	16	9	1	7		14
世田谷		1	11	46	23	3	3	1		8
渋谷区		5	2	31	3	3	1	2	2	4
中野区			16	40	2	5	6	3		
杉並			13	52	8	3		5		2
池袋			1	11	1	1	1	1		
北区	1		3	19	12	4	1	1		2
荒川区		1	2	25	9			1	1	4
板橋区			3	19	3	3	1	4	1	
練馬区			13	31	5	4	1	2		6
足立		4	26	33	8	10	12	9		3
葛飾区			12	12	8	6	13			8
江戸川		8	21	54	20	5	10	5	14	14
八王子市		2	43	83	23	3	14	6	4	2
西多摩		1	5	39	4	2	5			2
南多摩			15	29	18	4	1	8		3
町田		1	28	83	22	6	13	2		11
多摩立川		1	11	16	9		5			1
多摩府中		3	16	26	17	8	8	3	2	
多摩小平	1	3	22	77	13	10	9	2	1	18
島しょ										
東京都合計	4	54	335	1,092	264	117	114	74	30	148

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2010年22週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	1	1	2			
中央区						1
みなと	9	1		2		
新宿区	1			1		2
文京						1
台東				1		
墨田区	2	2				
江東区	3			2		
品川区	2					
目黒区	1			1		
大田区	1	1				1
世田谷	15	3		2	1	
渋谷区						
中野区	3	1				1
杉並				5		
池袋	2			1	1	
北区	4	2				
荒川区	1	2		1		
板橋区	1					
練馬区				2		1
足立	3					
葛飾区	8					1
江戸川	5					4
八王子市	11	1				1
西多摩	3					
南多摩	7					1
町田	14	3		2		
多摩立川	3			1		
多摩府中	14			2		1
多摩小平	25	1		1		5
島しょ	3					

東京都合計	142	18	2	24	2	20
-------	-----	----	---	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		1
台東		
墨田区		
江東区		1
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平	1	
島しょ		

東京都合計	1	2
-------	---	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2010年22週

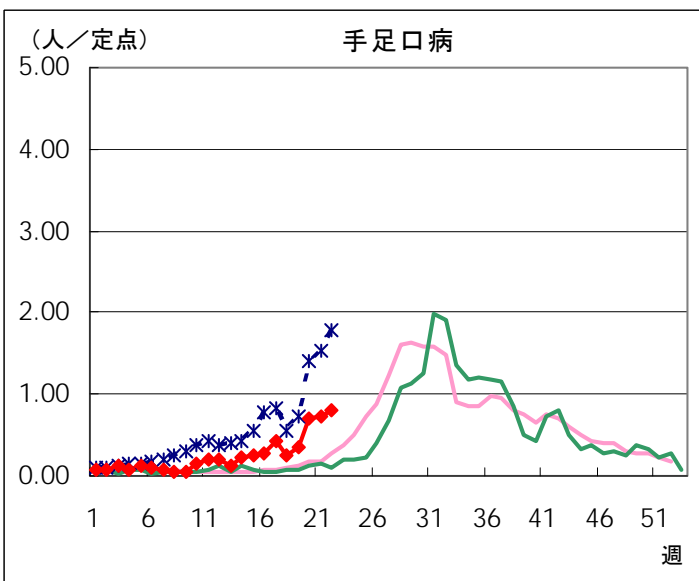
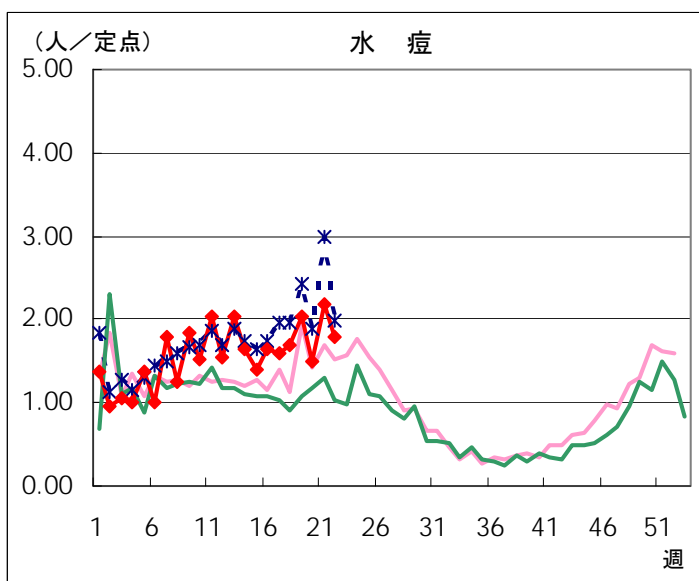
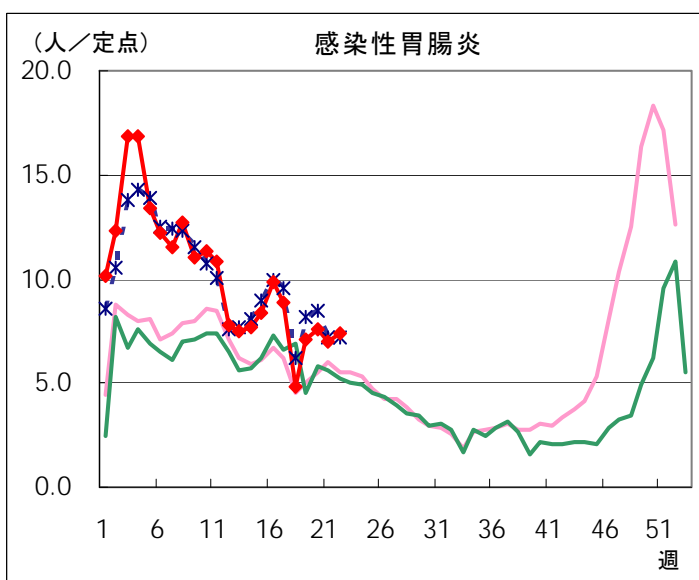
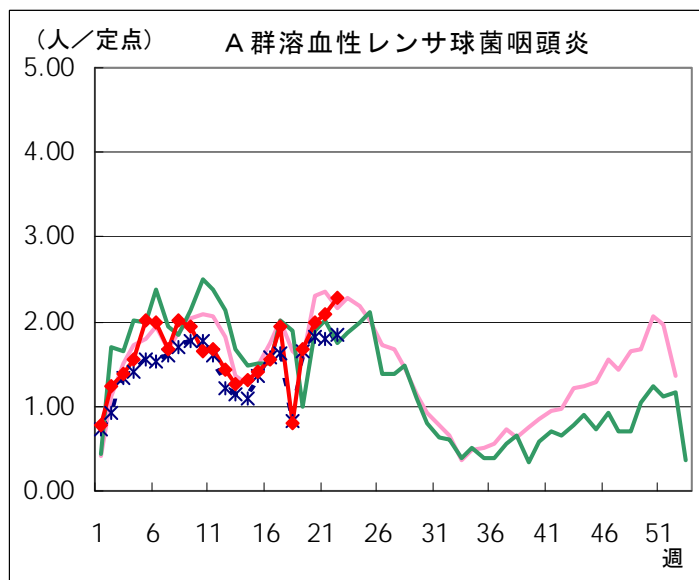
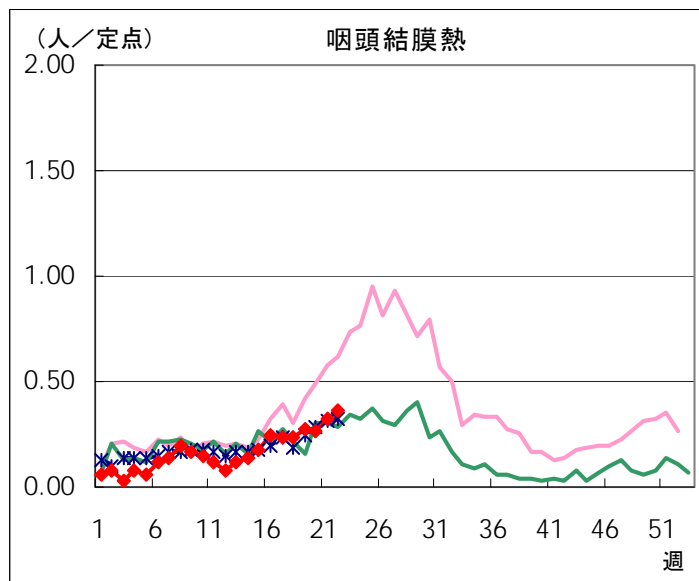
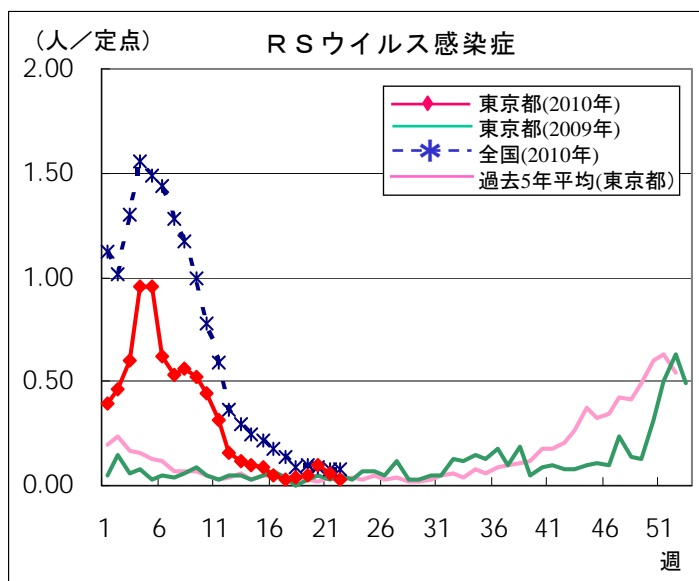
定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田					0.67				0.33	
中央区			2.33	5.33	0.33	1.33				1.00
みなと	0.17	0.67	1.17	6.50	1.83	0.33	0.17	0.83	0.33	1.17
新宿区	0.17	0.33	0.67	6.33	0.83	1.83	0.17	0.33		1.33
文京			1.33	1.00	1.00					
台東			2.67	15.33	1.00			0.67	0.33	4.00
墨田区			1.67	6.67	0.67		1.00	0.33	0.33	0.67
江東区		0.25	1.75	13.25	1.75	1.25	0.50			0.50
品川区		0.17	1.17	8.67	1.00	0.17	0.33	0.33		1.67
目黒区			1.00	2.00		1.67				0.67
大田区		1.78	2.22	10.33	1.78	1.00	0.11	0.78		1.56
世田谷		0.13	1.38	5.75	2.88	0.38	0.38	0.13		1.00
渋谷区		1.25	0.50	7.75	0.75	0.75	0.25	0.50	0.50	1.00
中野区			2.67	6.67	0.33	0.83	1.00	0.50		
杉並			2.17	8.67	1.33	0.50		0.83		0.33
池袋			0.25	2.75	0.25	0.25	0.25	0.25		
北区	0.33		1.00	6.33	4.00	1.33	0.33	0.33		0.67
荒川区		0.50	1.00	12.50	4.50			0.50	0.50	2.00
板橋区			0.50	3.17	0.50	0.50	0.17	0.67	0.17	
練馬区			2.60	6.20	1.00	0.80	0.20	0.40		1.20
足立		0.80	5.20	6.60	1.60	2.00	2.40	1.80		0.60
葛飾区			3.00	3.00	2.00	1.50	3.25			2.00
江戸川		1.60	4.20	10.80	4.00	1.00	2.00	1.00	2.80	2.80
八王子市		0.50	10.75	20.75	5.75	0.75	3.50	1.50	1.00	0.50
西多摩		0.20	1.00	7.80	0.80	0.40	1.00			0.40
南多摩			3.75	7.25	4.50	1.00	0.25	2.00		0.75
町田		0.25	7.00	20.75	5.50	1.50	3.25	0.50		2.75
多摩立川		0.17	1.83	2.67	1.50		0.83			0.17
多摩府中		0.30	1.60	2.60	1.70	0.80	0.80	0.30	0.20	
多摩小平	0.17	0.50	3.67	12.83	2.17	1.67	1.50	0.33	0.17	3.00
島しょ										
東京都	0.03	0.37	2.28	7.43	1.80	0.80	0.78	0.50	0.20	1.01

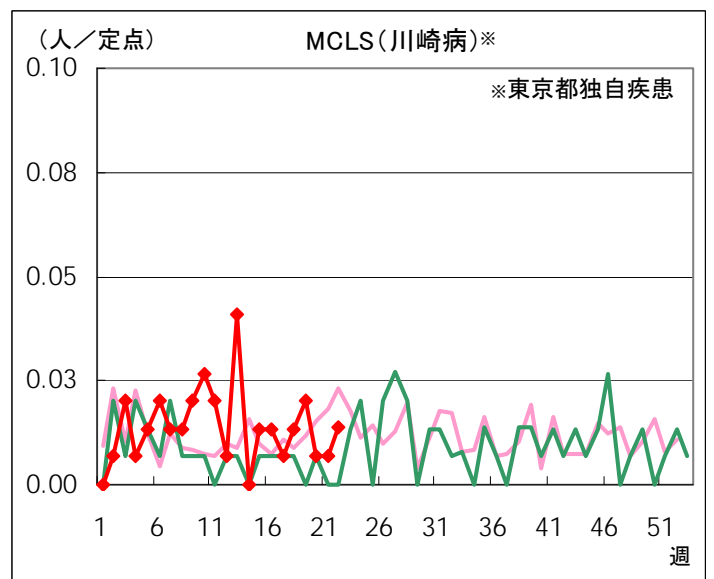
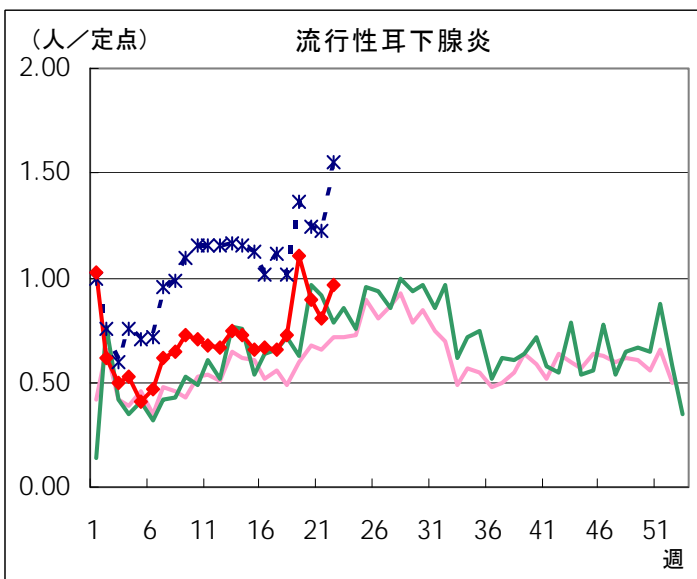
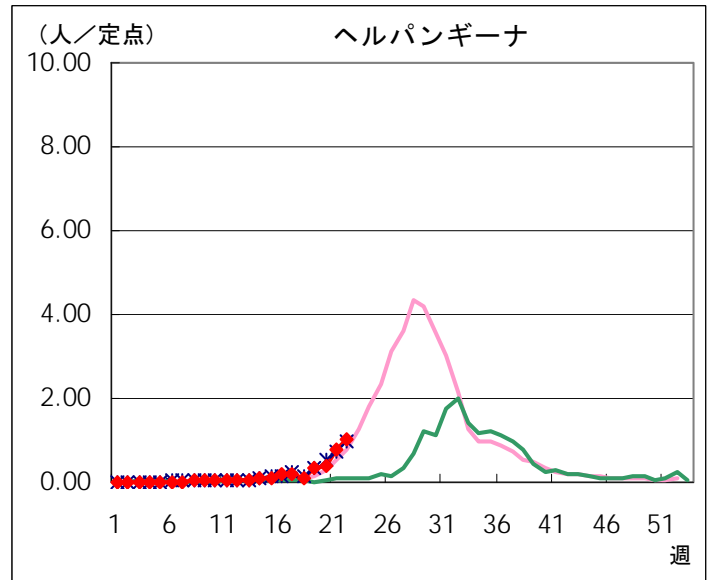
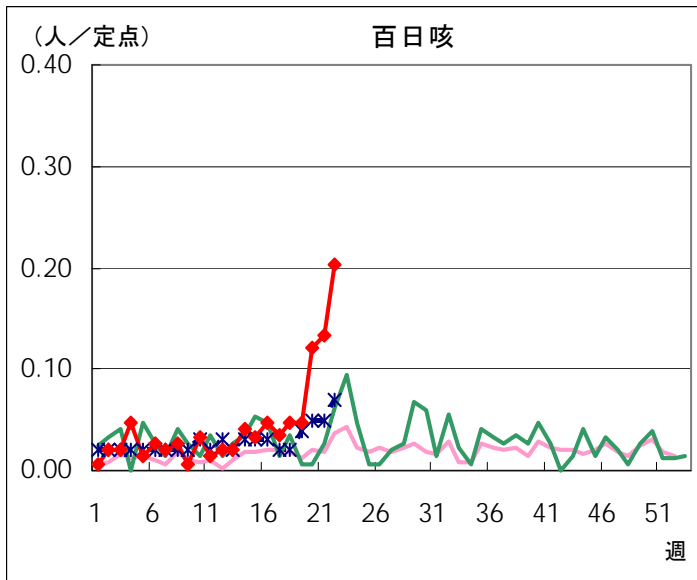
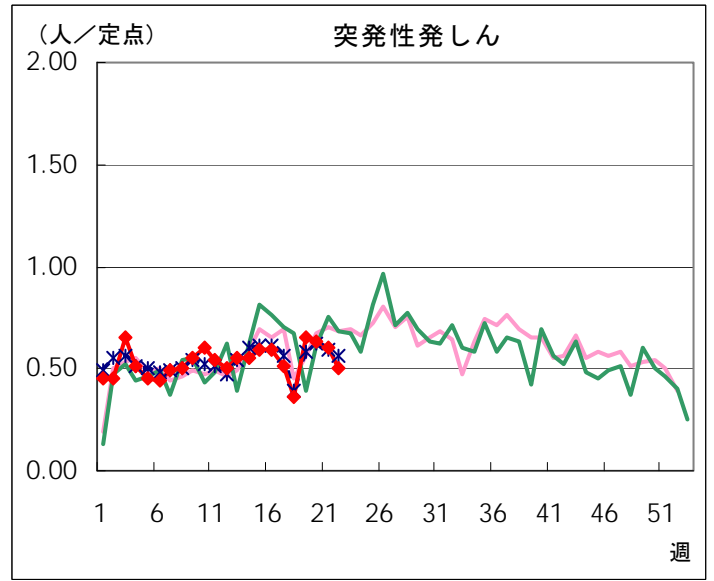
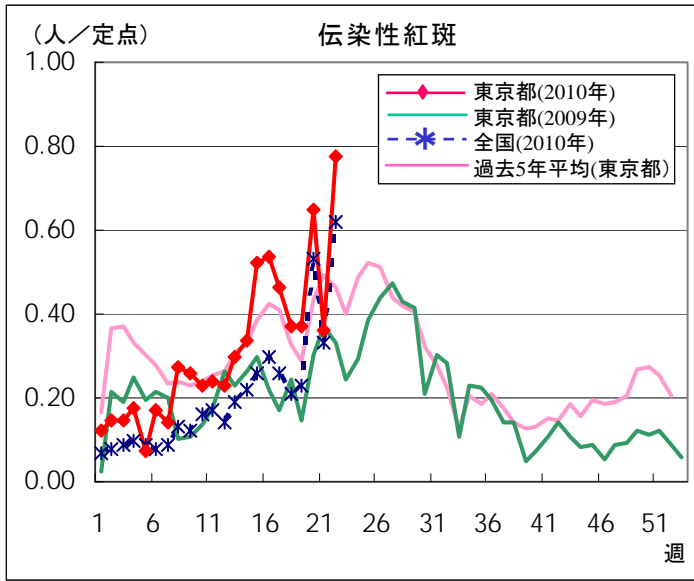


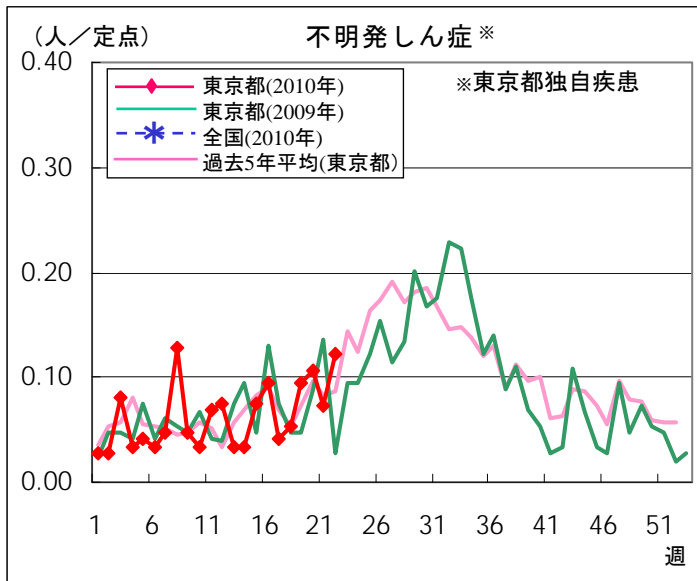
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	0.33	0.33	0.67			
中央区						1.00
みなと	1.50	0.17		0.25		
新宿区	0.17			0.11		1.00
文京						1.00
台東				0.20		
墨田区	0.67	0.67				
江東区	0.75			0.22		
品川区	0.33					
目黒区	0.33			0.17		
大田区	0.11	0.11				0.50
世田谷	1.88	0.38		0.13	0.50	
渋谷区						
中野区	0.50	0.17				1.00
杉並				0.42		
池袋	0.50			0.14		
北区	1.33	0.67				
荒川区	0.50	1.00		0.25		
板橋区	0.17					
練馬区				0.17		0.50
足立	0.60					
葛飾区	2.00					1.00
江戸川	1.00					2.00
八王子市	2.75	0.25				0.50
西多摩	0.60					
南多摩	1.75					1.00
町田	3.50	0.75		0.22		
多摩立川	0.50			0.08		
多摩府中	1.40			0.10		0.33
多摩小平	4.17	0.17		0.07		2.50
島しょ	3.00					
東京都	0.97	0.12	0.01	0.08	0.05	0.51

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2010年22週現在

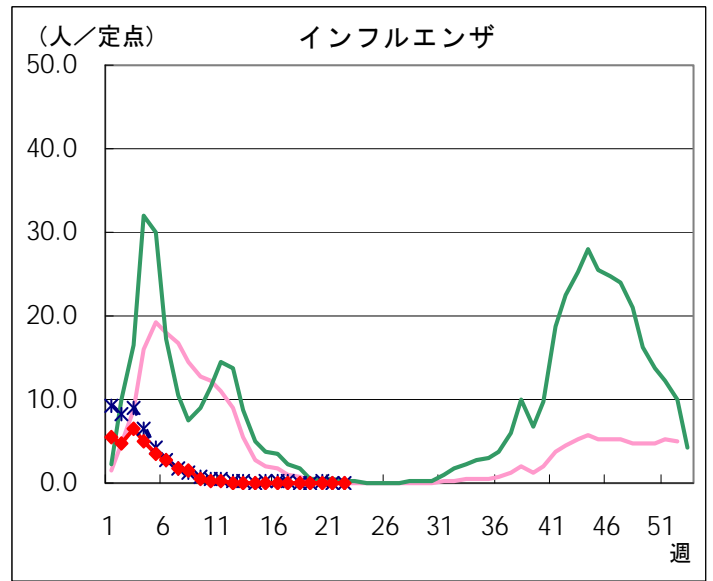
## ◆ 小児科定点



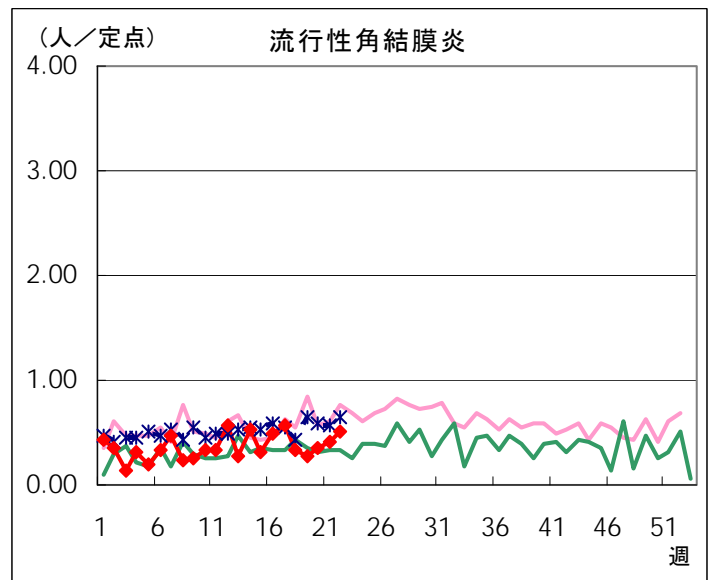
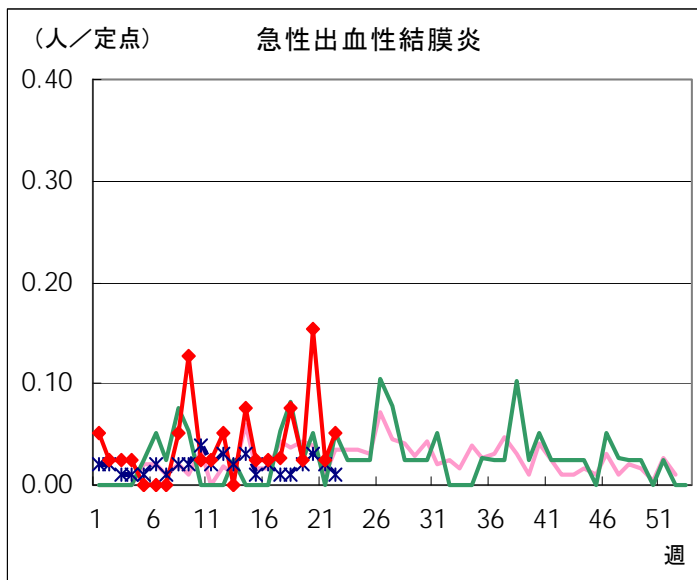




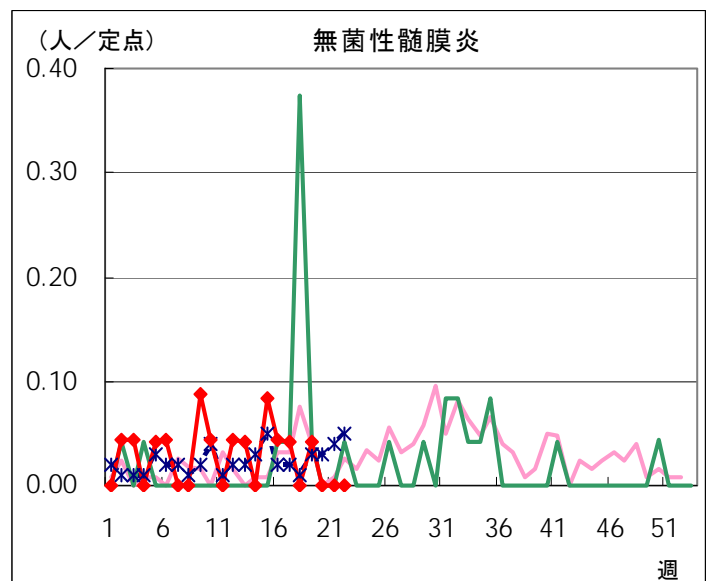
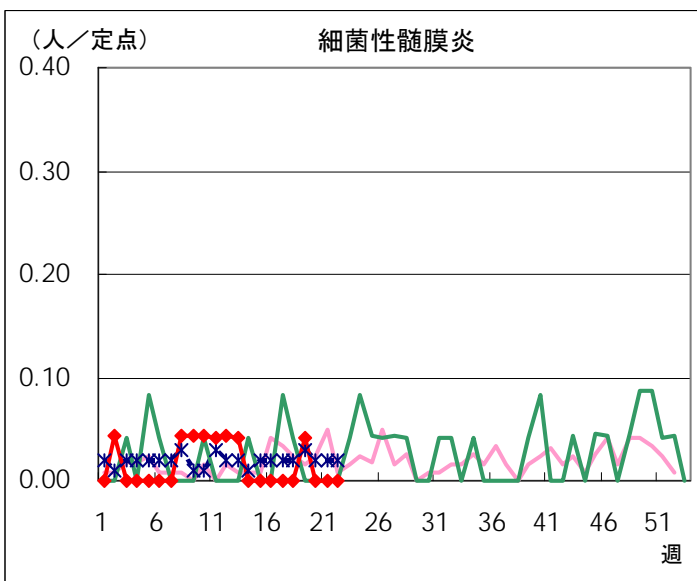
◆ インフルエンザ定点

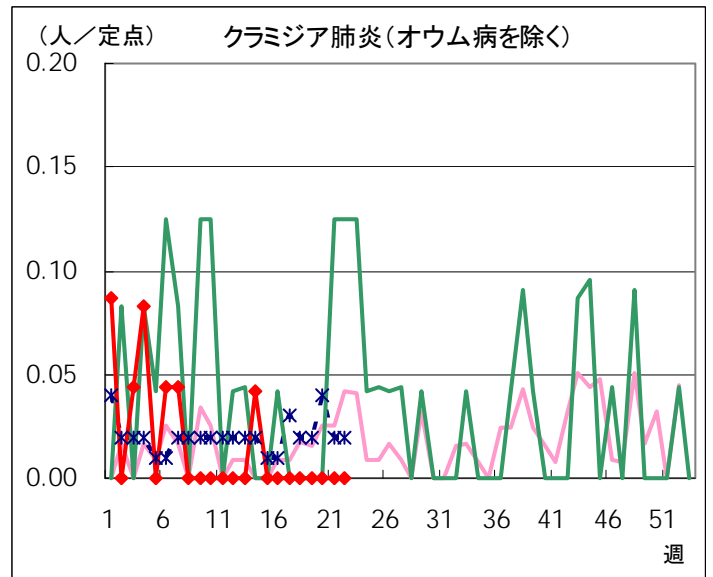
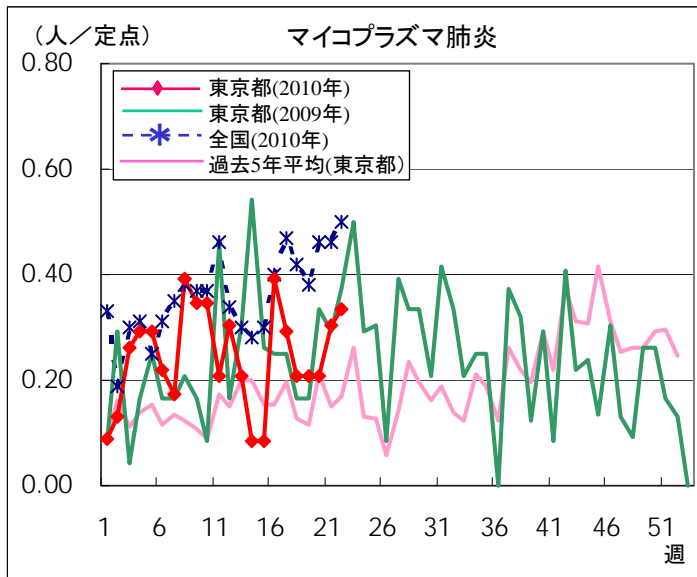


◆ 眼科定点

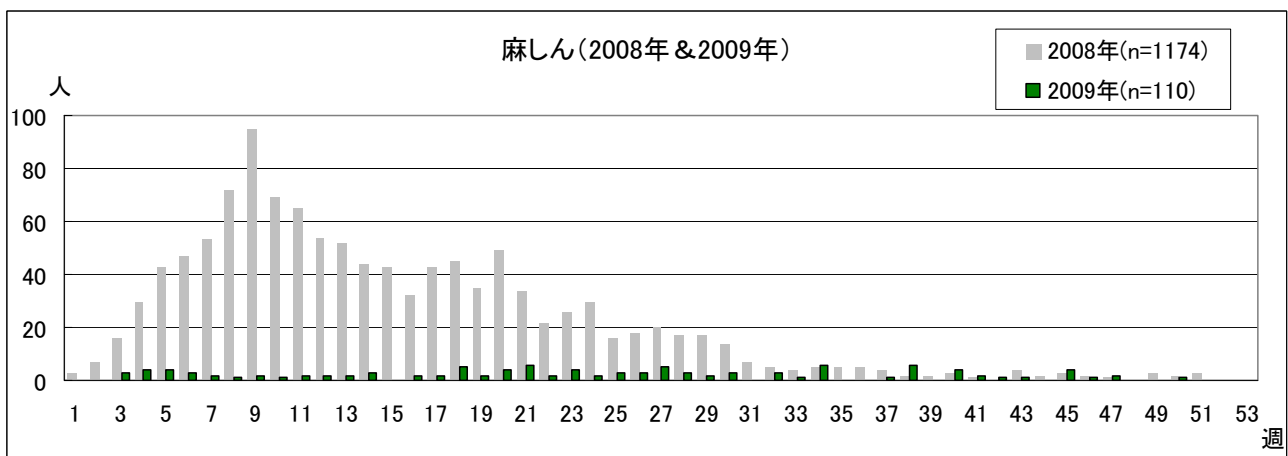
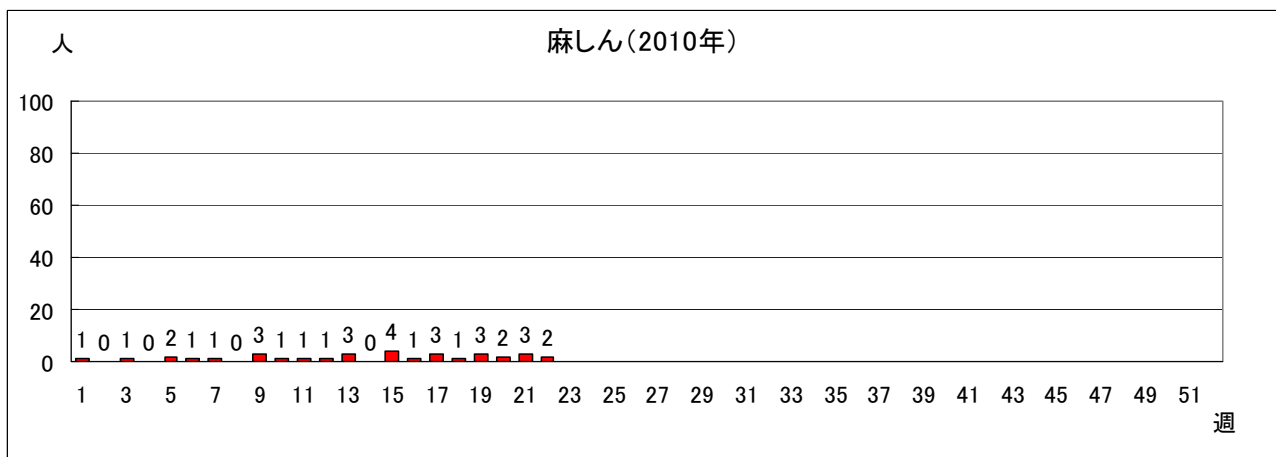


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2010年22週現在



## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
4/1	急性咽頭炎	4	菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌(T-28型) 感受性は①参照	菌型 薬剤感受性
4/12	急性咽頭炎	3	菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌 感受性は②参照	
4/15	急性咽頭炎	6	菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌(T-28型) 感受性は③参照	
4/19	急性扁桃炎	5	菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌 感受性は④参照	
4/22	急性咽頭炎	2	菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌(T-28型) 感受性は⑤参照	
4/27	頸部リンパ節炎	4	菌株 (鼻腔拭い液由来)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (コアグラゼ I 型) 感受性は⑥参照	
			菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌(T-1型) 感受性は⑦参照	
			菌株 (咽頭拭い液由来)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (コアグラゼ I 型) 感受性は⑧参照	
			菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌(T-28型) 感受性は⑨参照	
4/28	急性肺炎	14	菌株 (喀痰由来)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (コアグラゼ I 型) 感受性は⑩参照	
4/28	急性扁桃炎	6	菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌(T-28型) 感受性は⑪参照	
5/13	流行性耳下腺炎・髄膜炎	11	髄液	ムンプスウイルス	遺伝子
5/14	感染性腸炎	6M	糞便	アデノウイルス、エンテロウイルス	
5/14	感染性腸炎	6M	糞便	エンテロウイルス	
5/14	肺炎	7M	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
5/16	痙攣重積・突発性発しん症	2	髄液	アデノウイルス	
5/16	肺炎	1	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
5/17	ロタウイルス性腸炎	11M	糞便	エンテロウイルス	
5/17	流行性耳下腺炎	7	髄液	アデノウイルス	
5/17	急性細気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
5/19	気管支炎	11M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
5/21	デング熱	39	血液	デングウイルス	抗体
5/21	溶連菌感染症	9	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌(T-28型) 感受性は⑫参照	菌型 分離同定 薬剤感受性
5/22	気管支炎	記載なし	咽頭拭い液	ライノウイルス	遺伝子
5/24	ウイルス感染皮しん	記載なし	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
5/24	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/24	気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
5/24	マイコプラズマ気管支肺炎	1	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
5/24	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
5/24	急性細気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
5/25	手足口病	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/25	ウイルス感染症発しん	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
5/25	肺炎	11	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
5/25	急性細気管支炎	10M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
5/26	川崎病	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
5/26	ウイルス感染症・皮膚症状	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型	
5/27	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
5/27	急性気管支炎	4	咽頭拭い液	ライノウイルス	
5/27	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
5/27	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス メタニューモウイルス	
5/27	急性咽頭炎	7	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/27	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/28	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス、ムンプスウイルス EBウイルス、サイトメガロウイルス	

1. 薬剤感受性検査結果 : A群溶血性レンサ球菌

参照番号	ABPC	CEX	CDTR	CFDN	TC	CP	EM	CAM	CLDM	LCM
	アンピシリン	セファレキシン	セフジトレン	セフジニル	テトラサイクリン	クロラムフェニコール	エリスロマイシン	クラリスロマイシン	クリンダマイシン	リンコマイシン
①	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
②	S	S	S	S	R	S	R	R	R	R
③	S	S	S	S	I	S	S	S	S	I
④	S	S	S	S	R	S	R	R	R	R
⑤	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
⑦	S	S	S	S	S	S	R	R	S	S
⑨	S	S	S	S	S	S	R	R	S	S
⑪	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
⑫	S	S	S	S	S	S	R	R	R	R

2. 薬剤感受性検査結果 : メチシリン耐性黄色ブドウ球菌

参照番号	CEZ	CTX	IPM	EM	CAM	GM	VCM	MINO	OFLX	ABPC	MPIPC
	セファゾン	セフトキシム	イミペネム	エリスロマイシン	クラリスロマイシン	ゲンタマイシン	バンコマイシン	ミノサイクリン	オフロキサシン	アンピシリン	オキサシリン
⑥	R	R	R	R	R	R	S	S	S	R	R
⑧	R	R	R	R	R	R	S	S	S	R	R
⑩	R	R	R	R	R	R	S	S	S	R	R

S:感性(感受性), I:中等度, R:耐性

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)*
21週	0	0	0	1
今シーズン累計**	1	1	9	731

\* : 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/H1N1)。

\*\* : 2009-2010シーズンの開始は第36週(8月31日~9月6日)。

## 病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年							
		14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週
ウイルス	アデノウイルス	1	10	3		4	12	5	10
	ライノウイルス		4	5		6	5	5	7
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	1		2		3	7	4	8
	単純ヘルペスウイルス		2						
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	2	2	4		3	5	3	1
	EBウイルス	1	4	2		1	1	1	1
	サイトメガロウイルス	1					1		1
	ムンプスウイルス	6	5	1		3	2	1	2
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	1		2				1	
	ノロウイルス	1	1			1			
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3						1		
	インフルエンザウイルスB								
新型インフルエンザウイルスAH1pdm			1	3				1	
デングウイルス(抗体を含む)								1	
その他のウイルス		3	6		7	2	7	6	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌	1					2		9
	その他の細菌	1			3		1		3
その他の病原体									



病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年14週～2010年21週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	19	28	64	19	12	7	2	6	1	8		26	24		1		117	
ウイルス	アデノウイルス	1	8	13	4		3	2		1		2	3				8	
	ライノウイルス		4	16	2	1						4					5	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス		1	5	3				1	6		3						6
	単純ヘルペスウイルス																	2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7									1		8						11
	EBウイルス					1						1	3					6
	サイトメガロウイルス			1								1	1					
	ムンプスウイルス					1								19				
	麻疹しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス			4														
	ノロウイルス				2													1
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3	1																	
インフルエンザウイルスB																		
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	5																	
デングウイルス(抗体を含む)																	1	
その他のウイルス		2	25	1		1											2	
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		7					2									3	
その他の細菌		3	2				1										2	
その他の病原体																		